

【川崎市川崎区】

埋立地を含む臨海工業エリアに位置する川崎区は、一般住宅同様、高齢者施設・住宅も首都高速横羽線以西に偏る。もっとも、65歳以上人口に対する供給率は3%台、75歳以上で同7%台と市内の他区に比べ低く、整備が追いついていない印象。特定施設は8カ所・定員579人とそれなりに整備が進んでいるようにみえるが、これは区中央部に位置する、定員217人を擁する大型ホーム「ライフコミュニケーション川崎」に拠るところが大きい。

【川崎市幸区】

多摩川を挟んで東京都大田区と接する川崎市幸区だが、東京都に近い東部エリアに高齢者施設・住宅はまばらで、区内を南北に貫くJR横須賀線「新川崎駅」、および同南武線「鹿島田」駅を挟んで、西部エリアに高齢者施設・住宅は集中していることがわかる。特に中西部から南西部にかけての「南加瀬」「小倉」には特定施設やサ高住の集積がみられ、供給過剰を示す濃い赤いゾーンが広がっている。

78 川崎市川崎区

供給数は対65歳以上で3%台、対75歳以上でも7%台と低め。
特定施設は定員217人の大型ホーム「ライフコミュニケーション川崎」が牽引

※MAP上のプロットは2016年末時点
※住宅型・健康型有料老人ホームは含まず
※一部不明施設あり



川崎市川崎区 DATA

面積	40.25km ²
人口	222,668人
65歳以上人口	48,228人
75歳以上人口	22,078人
75歳以上人口比率	9.9%
世帯数	108,120世帯
65歳以上単身世帯	12,415世帯
65歳以上夫婦世帯	6,132世帯
供給数対65歳以上人口	3.26%
供給数対75歳以上人口	7.12%

※データ出典：2015年国勢調査、2016年介護施設・事業所データ、2014年推計要介護(要支援)認定者数データ

被保険者人口

要支援1	1,307人
要支援2	1,143人
要介護1	1,845人
要介護2	1,431人
要介護3	1,074人
要介護4	1,038人
要介護5	901人
合計	8,739人(対65歳以上人口比18.1%)

凡例



77 川崎市幸区

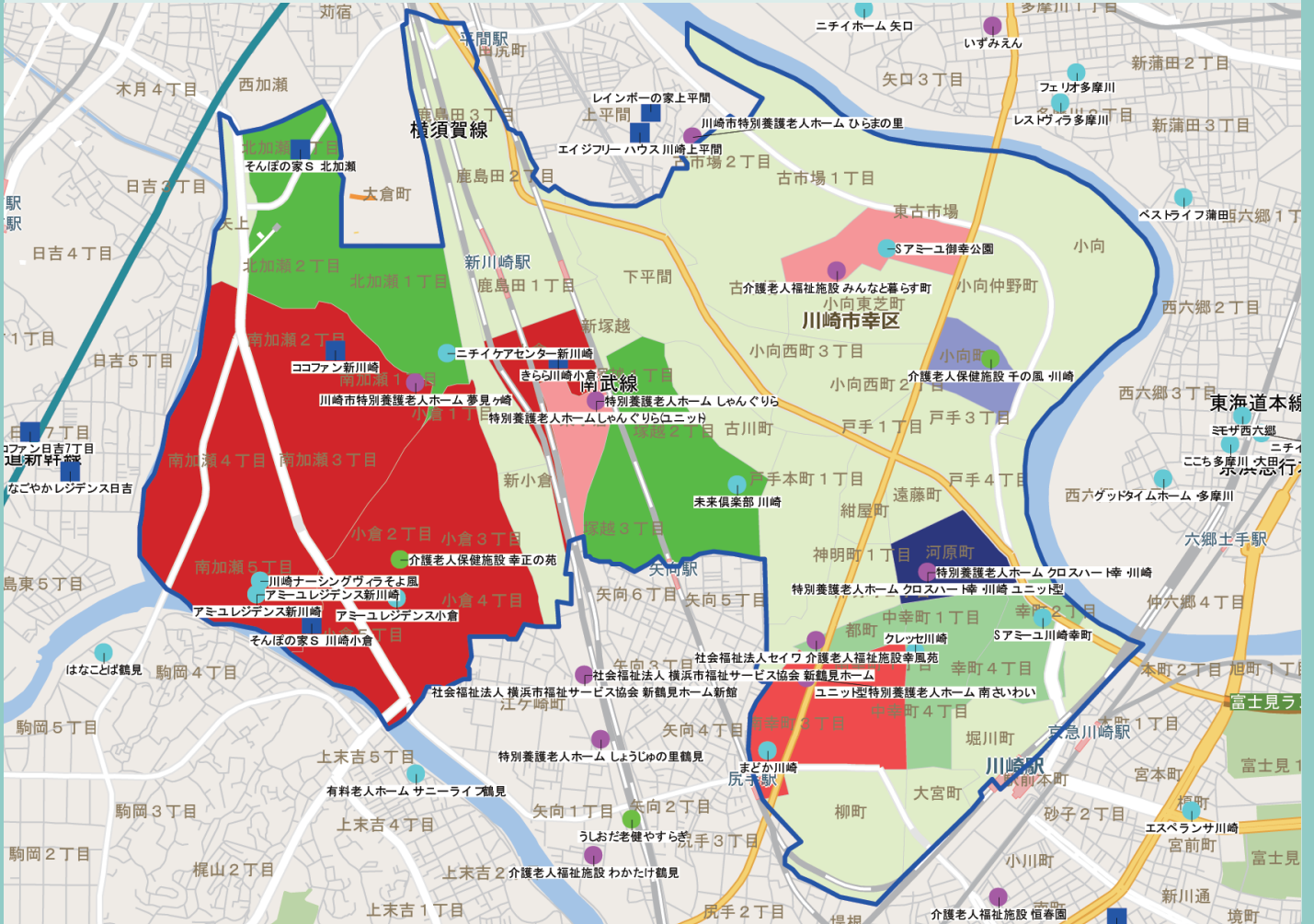
JR南武線・横須賀線を挟み東西で二極化。
西部は供給過剰、東部は整備もまばらの様相

マーケティングデータ

注目エリアのマーケット状況を俯瞰する
市区町村別[高齢者施設&住宅]需給MAP

データ提供：技研商事インターナショナル(株)「MarketAnalyzer™」

※MAP上のプロットは2016年末時点
※住宅型・健康型有料老人ホームは含まず
※一部不明施設あり



川崎市幸区 DATA

面積	10.09km ²
人口	160,114人
65歳以上人口	34,679人
75歳以上人口	16,086人
75歳以上人口比率	10.0%
世帯数	74,678世帯
65歳以上単身世帯	7,391世帯
65歳以上夫婦世帯	5,182世帯
供給数対65歳以上人口	4.99%
供給数対75歳以上人口	10.75%

※データ出典：2015年国勢調査、2016年介護施設・事業所データ、2014年推計要介護(要支援)認定者数データ

被保険者人口

要支援1	916人
要支援2	795人
要介護1	1,313人
要介護2	1,017人
要介護3	761人
要介護4	722人
要介護5	622人
合計	6,146人(対65歳以上人口比17.7%)

凡例

